

教材名 「大すきなフルーツポンチ」

内容項目 C-（11）公正，公平，社会正義

授業者 武田ゆう子

- T : 今日勉強するお話「大好きなフルーツポンチ」。おととい読みましたね。簡単に確認します。僕は給食当番になってフルーツポンチをよそう係になったんだよね。僕は気を付けながらよそい始めます。なんで。
- C : 前はばらばらにやっちゃたから。
- C : 前は適当にやって、遅くやった人の分が少なくなったから。
- T : そうね。多く分けすぎて足りなくなっちゃったってことがあったんだよね。それで、気を付けながらよそい始めます。順番に配っているうちに、目の前にしゅんたくんが来ました。どうした？
- C : 一番の大親友。
- C : しゅんたくんのだけ多くした。
- C : ひどいよ。
- T : そしたら隣のかおりさんが？
- C : しゅんたさんのだけ、なんでそんなに多いの。
- T : というお話でしたよね。早速考えていきます。みんなネームもってますね。皆さんは、「ぼく」がしゅんたさんの器に多く入れたことを許せますか、ゆるせませんか。許せると思う人は右側へ、許せないと思う人は左の方へ、ちょっと迷うなという人は真ん中で。では考えが決まった人からどうぞ。

(ネームカードをはる)

- T : では、理由を教えてください。「許せない」を選んだりひと君からお願いします。
- C : 好きな友達の分だけ、好きだからって多くするのはだめだと思ったから「許せない」にしました。
- T : 「許せない」に近い人たちから。
- C : 給食はみんなで食べるために分けてあるから、みんな同じようにしないとだめだから「許せない」にしました。
- C : みんなには同じようにしないといけないのに、一人だけ同じようにしなかったから「許せない」に近い方にしました。
- C : 他の人のを、一人くらいだけ少なくしたら、その人は残念だと思うから「許せない」にしました。
- T : 少なく分けられた人が残念だという考えね。
- C : 僕だったら許せるかもしれないけど、一人だけのフルーツポンチを多くして一人だけ少なくすると、許せうないか許せるか迷っています。
- T : 人によっては許せないということ？
- C : もしそういうことをやっても、後からきちんとそういうことをしなければ許せる。
- T : 1回はいってこと？

C : 仕方なく。

C : だって、多くしちゃったのはしょうがないから「許せる」と思った。理由は、たぶんそういうことが起こったのはたぶん1回目だと思ったからです。

T : RくんやKくんの考えを聞いて、でもやっぱり僕は許せない気持ちってこと？

C : 一人を多くして一人を少なくするのがだめだと思ったから。

T : なんでだめだと思った？理由言える

C : 一人の分を少なくするのがだめだと思いました。

C : 確かに…

T : では、役割演技をしながら考えていきましょう。先生が最初に「ぼく」役をやります。「かおり」役を誰かにやってほしいんです。

C : しゅんたさんは？)

T : しゅんたさんの札ないけどやってくれる？しゅんたさんにたくさん入れた「ぼく」です。かおりさんはそれを注意する。多く分けられるしゅんたさんね。何かセリフ言えそうですか。じゃあみんなもよく見ててくださいね。3人は何て言うのかな。自分だったらどう言うかなということも考えてみてね。

(役割演技)

T (ぼく) : しゅんた君に多く分けちゃおうっと。

C (かおり) : なんでしゅんた君の分だけ多くするの。

T (ぼく) : え？少しぐらいいいじゃない。

C (かおり) : だめだよ。

T (ぼく) : なんで？

C (かおり) : なんでって・・・好きな人の分だけ多くするのがいいってもんじゃないよ。

T (ぼく) : だって友達なんだもん、しゅんたくん。

C (かおり) : 友達だからっていいってもんじゃないよ。

C (しゅんた) : 何か前みたいに多くされてる。いただきますをしたら少し減らそう。

T : 急にやってくれたしゅんたくんなんだけど、先生が「ぼく」役で少しならいいでしょうって言ったことどう思いますか。

C : 別にいいじゃん。

C : ひどい。一人だけに多くするのは。でも許せる。

T : しゅんたくんも多く分けられて、なんで戻そうとしたのですか。

C : 前みたいに足りなくなっって、誰か一人少なくされてるかもしれないから。

T : 自分は違うように言えるって人、先生とは違う言葉で言えそうな人？

(役割演技)

C (かおり) : なんでしゅんたさんだけ多いの？

C (ぼく) : 別にいいじゃん。どうせ後からしゅんたさんは減らすと思うよ。

C (かおり) : だからって多くするのはだめだよ。

C (ぼく) : 何で？

C (かおり) : だめだから。みんながかわいそうだから。

C (ぼく) : 少しぐらい多くしたっていいじゃん。

C (しゅんた) : そうだよ。たまたま多くしたのかもしれないし、後で減らせばいいんじゃないの。

T : 今の3人のやりとりはどうでしたか。
C : さっきと違う。今の役割演技は、は後から減らすからいいじゃんって言ってたけど、前の時はそう言ってなかった。だから、なんだか当たり前のことかなと思った。
T : 後から減らせばいいのでしょうか。
C : 後で減らすと食べる時間がなくなるから、後で減らさない方がいいと思います。
C : 減らしたら、逆に普通よりちょっと少なくなるかもしれないから、減らさない方がいい。Aさんが言ったように食べる時間もなくなるからだと思います。
T : みんなはどうなの。後から調整すればいいから、好きな人には多く分けていますか。
C : 大鷹沢小学校でも、そういう失敗があるから、許せるじゃんと言いました。
T : そういう失敗を許す気持ちが大事ということね。でも最初から多く分けると・・・
C : ちょっとしたこと、責めるのがだめだと思う。
C : 後で減らせばいいというのは、配った意味がない。後で減らすのは不思議。
C : 後で減らすというのは嘘かもしれない。
T : しゅんたは多くもらって喜んでいるということかな。
C : 本当は減らさないかもしれないと思います。
T : 「ぼく」はそうすればよかったのでしょうか。
C : 最初から同じように分けていれば、こんな風に問題は起きなかったと思います。
C : Rさんと一緒に最初からみんなと同じだったら、こんな風にはならなかったと思います。
C : どうしてやっちゃったんだろう・・・
T : おととい、不公平や公平の話をしましたよね。公平とはどういうことなのですか。いつものp4cよりもっと短い時間だけど、やります。

(いすをもって円座になる)

T : 一言でいいです。公平であるためには、どんなことが大事だと思いますか。
C : 嫌いとか好きじゃなくて、みんな同じ量の方がいいと思います。
C : 公平にするためには、みんな同じようにして一人だけ違うようにしない方がいいと思いました。
C : 公平であるためには、一人にだけ多くとか一人にだけ豪華なことをしないで、みんな一緒に遊んで、数も一緒の方がいいと思います。
C : 公平は、みんな同じだから一人だけ多かたり一人だけ少なかたりするとダメだから、みんなと同じようにすると公平ができると思います。
C : 公平であるためには、一人だけ多くしたり一人だけ少なくするのをしないようにすると、公平ができると思います。
T : 短い時間でも意見が言えましたね。もっとみんなも言いたかったと思いますが、あすなるノートに書いてもらいます。

(移動、机に戻る)

T : 確認しますね。「これからの生活で」と書いてありますから、自分のことをよく考えてください。フルーツポンチのお話じゃなくていいです。自分のこれからの生活、2年1組のクラスの中で公平であるためにどんなことが大事かを考えて書きます。

C : 「公平」ってどういう意味ですか。

(「公平」の言葉の意味が分からない 児童には、個別に説明する。)

T : 二人に発表してもらいます。Kくん。

C : ぼくは、たまに多くあげちゃうことがあるから公平を覚えていたいです。

C : これから公平であるためには、みんなの協力が大事だと思いました。理由は、協力がないと公平にはできないからです。

T : 勉強して考えたことをしっかり書いていましたね、